

+

青空の下、無限に続く氷原を雪上車が進む
(小型無人機ドローンで撮影)



大氷原に挑む熱き大志

南極観測隊員 高村さん(東根)写真で紹介

生命感はなく、青空の下に延々と続く氷原。第60次南極地域観測隊の野外観測支援隊員として派遣された高村真司さん(58)＝村山市河島乙IIが帰国した。高村さん提供の写真で現地の様子を紹介する。

高村さんは昨年10月末、南アフリカ・ケープタウンから空路で昭和基地に入った。任務は、そこから雪上車で1カ月かけて約千キロ内陸のドームふじ基地へ向かい、世界最古となる100万年前の氷を掘削するための調査。

現地へ向かう道中、人工物のない風景が広がり、ブリザードに襲われたことも。雄大な自然とともに極限の環境で暮らす隊員の様子を捉えている。

(村山支社・鈴木大和)

金曜トピック



ドームふじ基地で記念撮影するメンバー。日本人やノルウェー人で構成する



雪上車を操縦する高村真司さん

+